

带状疱疹予防接種について

令和8年度の带状疱疹ワクチン定期予防接種についてお知らせします。

(対象となる方)

- ① 年度内に65歳を迎える方
- ② 60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり日常生活がほとんど不可能な方。
- ③ 令和7年度から令和11年度までの5年間の経過措置対象者
70、75、80、85、90、95、100歳の方

(带状疱疹ワクチン) ワクチンは2種類あり、接種方法や回数・効果が異なります。

	生ワクチン（阪大微研）	不活化ワクチン（GSK社）
接種回数・方法	1回（皮下に接種）	2回（筋肉内に接種）
接種スケジュール	—	通常、2か月以上の間隔を置いて2回接種（※）
接種できない方	病気や治療によって、免疫が低下している方は接種不可	免疫の状態に関わらず接種可能
ワクチンの予防効果	接種後1年時点：6割程度 接種後5年時点：4割程度	接種後1年時点：9割以上 接種後5年時点：9割程度 接種後10年時点：7割程度
自己負担額	3,000円	1回 10,000円 (合計 20,000円)
	生活保護者：無料 ※助成は生涯1回限りとなります。	
接種に注意が必要な方	輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後3か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は治療後6か月以上置いて接種してください。	筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方は注意が必要です。

※不活化ワクチンの2回目を令和9年度に打つとその分は助成対象外となります。

年度内に2回接種できるように1回目は遅くとも1月中に接種してください。

(接種の流れ) 接種を希望される方は以下の手順で接種してください。

- 1 医療機関に予約してください。
接種するワクチンはどちらか1つになります。希望するワクチンを伝えてください。
- 2 医療機関にて予診票を記入し接種を受けてください
- 3 接種後に、医療機関窓口で自己負担額をお支払いください。

(接種医療機関) 下記医療機関以外で接種した場合は自己負担となります。
 道立羽幌病院 (62-6060) 道立天売診療所 (01648-3-5030)
 道立焼尻診療所 (01648-2-3225)

(带状疱疹とは)

带状疱疹は、子どもの時に感染する水痘のウイルスが原因で起こります。治った後もこのウイルスは神経節に潜んでいるため、加齢やストレス、病気などにより免疫力が低下した際に再活性化して、带状疱疹を発症します。発症すると体の片側の一部にピリピリとした痛みが現れ、赤い発疹がでてきます。また、治ったあとも約2割の方に带状疱疹後神経痛と呼ばれる長い痛みが続くことがあるといわれています。

(令和8年度対象者) 過去に带状疱疹ワクチンを受けたことがある方は対象となりません。

65歳	昭和36年4月2日生～昭和37年4月1日生
70歳	昭和31年4月2日生～昭和32年4月1日生
75歳	昭和26年4月2日生～昭和27年4月1日生
80歳	昭和21年4月2日生～昭和22年4月1日生
85歳	昭和16年4月2日生～昭和17年4月1日生
90歳	昭和11年4月2日生～昭和12年4月1日生
95歳	昭和6年4月2日生～昭和7年4月1日生
100歳	大正15年4月2日生～昭和2年4月1日生

(带状疱疹ワクチンの安全性)

ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、不活化ワクチンについては、ショック、アナフィラキシーがみられることがあります。

接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

主な副反応の発現割合	生ワクチン(阪大微研)	不活化ワクチン(GSK社)
70%以上	—	疼痛*
30%以上	発赤*	発赤* 筋肉痛、疲労
10%以上	そう痒感*、熱感* 腫脹*、疼痛*、硬結*	頭痛、腫脹* 悪寒、発熱、胃腸症状
1%以上	発疹、倦怠感	そう痒感*、倦怠感、その他の疼痛

*ワクチンを接種した部位の症状 各社の添付文書より厚労省にて作成

(他のワクチンとの同時接種・接種間隔)

いずれの带状疱疹ワクチンについても、医師が特に必要と認めた場合は、インフルエンザワクチンや新型コロナウイルスワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン等の他のワクチンと同時接種が可能です。

ただし、生ワクチン(阪大微研)については他の生ワクチンと27日以上の間隔を置いてください。

带状疱疹予防接種お問合せ先

羽幌町健康支援課保健係(すこやか健康センター内) TEL 0164-62-6020(平日8:45~17:30)